



日々成長

さて、今日から1週間である！…もう分かっている（怒）って？ とにかく、最初の試験だから、担任としても心配で心配で…って、実はちっとも心配はしていないのだが（笑）、まあ、とりあえず、一応担任だし、試験の前は色々騒いでみるわけである。ははは。

しかし、「クラスのTOP-10とBOTTOM-10はこの通信で発表するぞ！」とウソをついたら、●●君に「あの担任はやりかねないもんね」と言われてしまった。まあ、言われた以上はやってみることにするか…？

などと冗談はさておき、何せ4月の数学とTOEICのテストとはわけが違う。だから不安に思っている人もいっぱいいるに違いない。繰り返すが、それが「普通」である。日比谷の初めての考査で、それが不安にならない方がおかしいのである。（もはや諦め…？笑）

各中学校のトップクラスの人が集まっているのだ。今まで学校のテストでは、1桁の順位しか取ったことがないという人がほとんどだろう。しかし、テストをやれば、当然のことながら1位の人でも出れば39位にも出る。つまり、このクラスの中で1位の人でも出れば39位の人でも出るということだ。「それがもしかしたら自分ではないか…」。こう思って不安になるのは当然なのだ。

しかし、その不安は、「がんばろう」と思っているからこそ不安なのである。「どうでもイイや」と思ったら、不安など感じるはずがない。だから、ぜひその不安を前向きに捉えてほしい。そして、不安は結局は努力で

しか打ち消すことができないことも学んでほしい。

私も2度目の担任だ。1年の最初の考査で思い通りの結果が得られない生徒がいっぱいいることも知っている。そして、だからこそ、次の考査から少しずつ結果を出していく生徒がいることも知っている。

今は余計なことは考えず、ひたすら自分の勉強をすすめよう。結果が出たら、それはまたその時のことだ。

*

今日（23日）の学級タイムは色々な課題が解決してよかった。合唱祭のプログラムに載せるイラストは、忙しいこの時期に●●くんが書いてくれたみたいだし、審査員には●●くんと●●くんが立候補してくれた。当日は公正な審査をお願いしたい（笑）。

一方、星陵祭の「寸前家族」の脚本リライトは、合唱祭に引き続き●●くんが引き受けてくれた。大変な仕事だが、それだけやり甲斐があるというものだ。プログラムに載せる紹介文（宣伝文？）は●●さんが、そのイラストは●●さんが担当してくれることになった。星陵祭のプログラムは、取っておけば一生の記念になる。去年のものを参考にしながら、小さなスペースでもピリッとしたイイ「作品」となるよう工夫してほしい。

*

考査目前で、とにかく不安かつ忙しいことだろう。でも、その困難な状況の中で、君たちは日々成長していくのである。